

平成27年度・特定非営利活動法人 山梨県ボランティア協会 事業計画表(案)①

事業区分	平成27年度事業名称・内容	事業概要	事業予算 (単位:円)
1、特定非営利活動法人 山梨県ボランティア協会 法人運営事業			
法人運営会議	1 総会	法人運営に関する事項を議決する。(年1回:5月)	
	2 理事会	法人の運営に関する会務を執行する。(年2回:4月・3月)	
	3 運営委員会	法人の事業に関する計画・編成・評価を行う。(年3回:4月・9月・3月)	
2、山梨県ボランティア・NPOセンター運営事業			
センター運営事業	1 山梨県ボランティア・NPOセンター維持管理・運営	ボランティア・NPOなど多様な市民活動団体が活動しやすいように、建物の維持管理と環境を整備し、開かれたセンター運営に努める。	
	2 ボランティア・NPO活動の機会や場の提供	山梨県ボランティア・NPOセンターの中間支援センター機能を活かし、出会い・交流・体験・学習、ネットワークづくりなどの総合的な活動支援を行う。	
	3 「NPOひろば」のビューロー機能拡充による活動支援	事務所の機能として、パソコン、ロッカー、レターケース、コピー機、印刷機、折機をセンター2階に整備し、団体・法人活動の側面的支援を行う。	
3、山梨県ボランティア・NPOセンター事業			
情報収集・提供事業 (啓発広報)	1 ボランティア・NPO活動情報紙 「ボランティアだよりの発行」(年6回・月2,000部発行)	県内外のボランティア・NPO活動の専門情報を、広く県民や法人会員に情報提供するための情報紙として毎月発行する。(年6回・2,000部)また、併せて毎月のセンター及び法人活動を情報公開する付録(事務局より)を発行する。発送は「発送ボランティア」の協力により行なう。平成25年度は、認定NPO法人格取得後のメリットを活かすため、会員や寄付金獲得のツールとして積極的な活用を図る。	871,000 (1,712,000)
	2 ボランティア・NPO啓発資料発行事業 センター・法人パンフレット 年1回1,000部発行 NPO法人ダイジェスト版 年1回(インターネット公開)	県ボランティア・NPOセンターのネットワーク型中間支援センター機能の紹介や山梨県ボランティア協会の事業活動紹介などを掲載したパンフレットを作成し、ボランティア・NPO活動の推進のための啓発・広報資料として活用を図る。また、県内のNPO法人の認証状況についてのダイジェスト版の冊子資料を作成し、NPO法人への県民の理解と活動参加を促進する。	113,000 (113,000)
	3 インターネット活用のボランティア・NPO情報提供		1,122,000 (625,000)
	(1)山梨県ボランティア協会インターネットホームページの運営 ・山梨県ボランティア・NPOセンター機能紹介 ・NPO法人山梨県ボランティア協会組織・事業概要紹介	総合的なインターネット情報公開ページのリニューアルを行い、センター機能、協会事業の情報発信の充実を図る。 センターの施設案内、中間支援センター機能の紹介など、協会事業活動の情報公開を行う。 協会の組織概要・年度事業の詳細を情報公開し、事業活動への理解と参加の促進を図る。	
	(2)やまなしNPO情報ネット ・ボランティア・NPO活動団体情報 ・ボランティア・NPO活動支援・助成金情報 ・インターネット版ボランティア・NPOボード ・パートナーシッププラザ(協働情報) ・NPO法人認証申請中団体情報(県民生活・男女参画課)	県内のボランティア・NPOのポータルサイトとして情報の一元化を図り、ボランティア・NPOの情報共有や入手を簡易にする。 ボランティア・NPOに関する団体・グループ・法人情報などを常時掲載し、情報公開の促進を図る。 県内外の活動支援及び助成金情報を収集し、随時情報提供を行う。 ボランティア・NPOボードに寄せられた情報を職員がインターネットの専用ページに入力し、情報入手や検索を簡易にし波及的効果を高める。 行政・企業・ボランティア・NPOの協働を促進するための事例の公開や協働のパートナー募集情報を提供する。 認証申請中の団体情報をインターネットで定期的に公開し、縦覧情報の共有を図る。	
	4 ボランティア・NPOボードの設置運営	行政・企業・ボランティア・NPO等と「協働」し、ボランティア・NPOボードの設置を通じて情報提供を行い、県域での情報の共有化を図る。	708,000 (719,000)
	(1)設置箇所の適正化(300→270箇所)	情報発信のキーステーションとなるボランティア・NPOボードの設置箇所の適正化を行い、事業の効果・効率の向上を図る。	
	(2)設置箇所への情報提供(隔週)(年22回)	既存の設置箇所への情報提供と、情報活用のためのアドバイスを行う。	
	(3)ボランティア・NPOボード情報の波及	収集・收受した情報を、広くマスメディアを活用し情報発信する。	
	(4)ボード設置・運営促進リーフレットの発行(年1回)	ボランティア・NPOボードの活用を促進するための総合案内書類として活用する。	
	(5)事業充実のための効果測定(アンケート調査)	ボランティア・NPOボードのネットワーク活用効果の設置箇所・ネットワーク利用者アンケート調査し、事業の効率化を図る。	
	(6)インターネット版ボランティア・NPOボードの運営	インターネット上で情報公開用に情報を整理し、ホームページにデータをダウンロードする。(毎週・土曜日更新)	
	5 NPOの基盤強化支援事業	NPO法人をはじめ民間の非営利活動団体の活動を促進するための研修会を開催し、ボランティア・NPO活動の総合的な支援を行う。	233,000 (230,000)
(1)NPO法人設立支援講座(インキュベート)(年2回)	特定非営利活動促進法の学習や法人設立のために必要な定款作成や所轄庁への届出書類の作成支援を行う。		
(2)ファンドレイジングセミナー(年1回)	NPO等の自主財源である会費・寄付金の獲得のための方策やツール作成などの実務研修を行い、財政基盤の強化につなげる。		
(3)認定・仮認定NPO法人への移行支援事業	認定・仮認定NPO法人制度を活用を予定しているNPO法人の移行に必要な事務手続き等の総合的な支援を行う。		
6 国内ボランティア・NPO研修	山梨県ボランティア・NPOセンターのネットワーク型中間支援センターとしての機能を高めるため、全国・関東ブロックなど県外研修への参加及び、県内外のNPO関係者を交えて研修を行い、資質向上を図る。H27年度は全国3箇所(東京都・大阪府・静岡県)の拠点・法人運営の先進地の視察研修を行い、中間支援機能(組織)の充実を図る。	185,000 (103,000)	
7 ボランティア夢・愛・共育事業	青少年に出会いとふれあい、夢と希望を育む「参加・体験・学習」の場として体験活動プログラムを実施する。	205,000 (206,000)	
(1)出会い・ふれあい・夢愛広場(年1回)	甲府富士ライオンズクラブと協働して、屋外での「参加・体験・学習」プログラムを開催し、ボランティアの夢・希望や共感の場づくりを行う。		
(2)第20回「子富士の会」富士山クリーン活動(年1回)	富士山をきれいにする会の青少年版として、県域での環境ボランティア活動の実践の場として行う。		
(3)青少年チャレンジ・ボランティア・フォーラム(年1回)	次代を担う青少年ボランティアの活性化を目的に、新たな活動グループづくりのためのネットワークを図るための場としてフォーラムを開催する。		
(4)ふれあいクリーン活動(年12回)	身近な生活環境の美化を通じて幅広い世代に環境ボランティアへの理解と参加を広げるための場を提供する。		
8 ボランティア教育推進事業	多様なボランティア活動の分野を題材としたプログラムを開発し、学校や地域でのボランティア教育の普及を図る。	199,000 (189,000)	
(1)教師のボランティアセミナー(年1回)	学校現場で「コーディネーターの役割」を担う教師のコーディネート力を高めるための研修を行う。		
(2)ボランティアスクール(年2回)	県内で今後必要となる先駆的の分野の学習会のほか、市町村社会福祉協議会等との連携による地域に根差したボランティア学習の場を提供する。		
(3)学校・地域での体験学習会	学校・地域の連携によるボランティア教育プログラムの実践の場として、県内の学校等を会場に出前体験学習会を開催する。		
9 ボランティア・NPO相談・斡旋	ボランティア・NPOに関する総合的な相談・斡旋業務を、他の中間支援センター機能を有する関係機関・団体と連携して行う。	653,000 (633,000)	
(1)ボランティア活動の相談・斡旋	ボランティア活動に関する活動相談・情報収集など総合的なボランティア・コーディネートを行う。		
(2)コーディネート機能を結ぶネットワーク会議(年1回)	県内の中間支援機能を有する機関の連絡名簿を作成し、情報交換・交流を図るための連絡会議を開催する。		
(3)NPO法人設立・運営相談会(年6回)	NPO法人の設立・運営に関する総合的な相談を行政書士等の専門職に行うことができる無料相談会を開催し、法人設立支援を行う。		
(4)NPO支援の専門家・サポーター派遣による個別団体支援事業	新しい公共支援基金事業で登録したNPO支援の各種専門家・サポーター(ボランティア)を派遣し、基盤強化や課題解決等の総合支援を行う。		

平成27年度・特定非営利活動法人 山梨県ボランティア協会 事業計画表(案)②

(●印:事業改変)

3、山梨県ボランティア・NPOセンター事業			
総合的コーディネート事業 (相談幹旋)	10 NPOひろばの運営	NPO活動を支援する場・機器(パソコン・印刷機)の提供を通じてNPOの活動支援、活性化に取り組む。	347,000
	(1)事務機器の保守(PC、印刷機)	機器を安全に使用していただくための保守・修繕・消耗品等の補充	(359,000)
調査研究・提案事業(調査研究)	11 ボランティア・NPO活動の状況調査・研究事業 (調査活動年1回)	県内のボランティアの活動状況や協働、社会貢献や新たなボランティア活動の動向などについての調査を行い、現状の把握と課題の研究を行い活動推進の基礎データとして事業活動での活用を図る。	30,000 (30,000)
	12 山梨県ボランティア・NPOセンター使用団体連絡会議	センター運営を円滑にするための連絡会議を開催し、センター運営に対する自発的な参画を広げる。	79,000
ネットワーク事業(連絡調整)	(1)連絡会議(年2回)	年間の活動計画づくりやセンター利用に関する調整事項を協議し、センターの運営に参画するための意識啓発を図る。	(79,000)
	(2)ボランティアサマーフェスティバル(年1回)	センターの使用団体を中心にボランティアバザーや活動展示などの交流の場を提供し、センターを活動拠点とする団体間のネットワークづくりと活性化を図る。	
	(3)センター使用団体交流・年末大掃除(年1回)	作業を通じて活動分野の異なるボランティア・NPOの交流とネットワークづくりを広げる機会とする。	
	(4)センター使用団体交流・新年互例会(年1回)	センター使用団体・グループ・NPOが、新年を迎えての活動抱負やビジョンを共有する場づくりを行う。	
	(5)センター避難誘導訓練(年1回)	使用者の防災意識と、避難・誘導技術の向上を通じて、助けあい・支えあいの気風を育て、有事の際に備えた意識啓発を図る。	
	13 災害・防災ボランティアの広域連携支援事業	県下各地で多様な分野で取り組む災害・防災ボランティアのネットワークづくりや、相互支援の関係づくりを行い、防災体制の強化を図る。	130,000
	(1)やまなし災害・防災ボランティアネットワーク会議	災害時における災害ボランティアの中・広域連携の強化を図るためのシュミレーション訓練をモデル地域を対象に実施し、行政・ボランティア機関の支援体制の強化を図る。	(111,000)
	(2)防災を目的とするアマチュア無線局ネットワーク事業(年2回)	県内のアマチュア無線を活用した防災を目的とする無線ネットワークの構築を市町村レベルから行い、災害時の非常通信手段の確保を図る。	
	(3)県内外の防災訓練への支援	県・市町村等で行われる防災訓練・各種研修事業の支援を行い、訓練・学習の質を高め、県民の防災意識を高める。	
	14 子どもの広場(年1回)	2月のボランティア活動推進月間に合わせ、幼児・児童からのボランティア活動への参加を図るための「参加・体験・学習」のひろばをボランティア・NPOと協働して開催する。	91,000 (89,000)
	15 行政・企業・NPOの協働推進フォーラム(年1回)	2月のボランティア・NPO活動推進月間のメイン行事として、「協働」の先駆者を講師として招聘し、県域での行政・企業・ボランティア・NPOの協働を進めるための情報交換や協働のパートナー探しやマッチングの場を提供する。	316,000 (281,000)
	16 協働推進支援センター事業	新しい公共支援基金事業の成果を踏まえ、山梨県ボランティア・NPOセンターに協働における総合的な支援を行う機能を新たに設置する。	401,000
(1)協働推進コーディネーター養成講座(年2回)	県内の行政・企業・NPOの協働を円滑にするための人材養成し、協働を進めるためのコーディネート機能の強化を図る。	(339,000)	
(2)市町村における協働推進事業(新規1、フォロー1 計2箇所)	市町村レベルでの協働を進めるためのモデル事業を実施し、具体的な協働の取り組みを県下に広げてゆく。		
17 やまなしNPOネットワーク	県内のボランティア・NPOのネットワーク強化のための交流・研修事業を協働して実施し、多様な主催による協働の実践の場を提供する。	315,000	
(1)やまなしNPOネットワーク会議(年1回)・事前研修会(2回)	交流・研修会を開催し、NPO間のネットワークづくりと、主体的に学び合い・育ち合う場づくりを行う。	(180,000)	
(2)やまなしNPOフェスタ(年1回)	県民の日記念行事に合わせボランティア・市民活動・NPOの活動の理解と活動への参加を広げる。		
			5,998,000 (5,998,000)

平成27年度・特定非営利活動法人 山梨県ボランティア協会 事業計画(案)③

(●印:事業改変 ★印:新規事業)

4、行政・企業・NPOとのパートナーシップ事業(26事業(予定))		
1, スポンサー事業A	スポンサー事業A(収入なし・寄付)	企業等からの現金寄付ではなく、放送枠や新聞紙面、物品寄付などの無償提供によるスポンサー事業。
	(1) マスメディア活用による情報提供事業	ボランティア・NPO活動を推進するための情報提供を県内の放送機関と協働して様々な媒体を活用して行う。
	(1)-1 山梨日日新聞ボランティアコーナー (山日厚生文化事業団・山梨日日新聞社)	山日YBS厚生文化事業団からの寄付により、毎週火曜日山日新聞テレビ欄裏面にボランティア情報を掲載する。(年52回)
	(2)-2 NHK甲府放送局「まるごと山梨」ボランティア情報 (NHK甲府放送局)	毎週月曜日の「まるごと山梨」の番組内でのボランティア情報の紹介(NHK甲府放送局キャスターが情報紹介)(年52回)
	(1)-3 エフエム甲府「まごころ放送局」 (株エフエム甲府、山梨トヨペット株)	エフエム甲府の毎週火・木・土曜日の生番組放送内でのボランティア・NPO情報の紹介。エフエム甲府＝放送時間枠無償提供・放送機器無償貸与。山梨トヨペット株＝放送用携帯電話無償貸与。
	(2) 善意の車いすネットワーク事業 (株ダイードリンク、山日厚生文化事業団株、ひろせ薬局)	県内の個人・企業等からの車いす寄付を有効活用するため、福祉施設や病院への寄贈のコーディネートを行う。
	(3) ボランティア・NPO活動推進月間啓発のぼり旗・横断幕掲揚事業 (甲府舞鶴ライオンズクラブ)	毎年2月のボランティア・NPO活動推進月間に合わせ、甲府舞鶴ライオンズクラブより寄贈していただいた推進月間の啓発のぼり旗を学校や事業所などで掲揚する
	(4) ヴァンフォーレ甲府・試合観戦招待席 (株式会社 ヴァンフォーレスポーツクラブ)	ヴァンフォーレスポーツクラブやヴァンフォーレのスポンサー企業からの試合観戦チケットを、福祉施設等へ寄贈するコーディネートを行う。
	(5) 企業の社会貢献活動支援事業 (株式会社 キトーほか)	県内企業からの寄付(物)を有効活用するため、ニーズの調査や寄贈先のコーディネートを行う。
	(6) ボランティア・NPO活動推進月間啓発事業 (ボランティア・NPO活動推進月間主催者連絡会議)	毎年2月のボランティア・NPO活動推進月間のオープニングセレモニーを関係機関の協力のもと甲府駅で行い、啓発物品の配布やマスコミ取材などをボランティア・NPO活動推進月間を広く県民にPRする。
2, スポンサー事業B	スポンサー事業B(収入あり・支出あり)	企業等からの現金寄付による特定事業への支援を目的としたスポンサー事業。
	(1) 測量の日記念ふれあいチャリティーグラウンドゴルフ大会 (社団法人山梨県測量設計業協会、県内障がい者団体)	毎年6月3日の測量の日を記念し、年齢や障がいの有無を越え、誰もが気軽に楽しめるグラウンドゴルフの協議を通じて、都市整備などに関わる測量設計業協会加盟企業・職員と障がいのある方との交流を行い、ユニバーサルデザインの普及を図る。
	(2) ふれあいチャレンジツアー (株式会社 キトー)	株式会社キトー、同労働組合の社会貢献活動の一環として、青少年ボランティアの育成の場や被災地支援プログラムを協働で実施する。
	(3) ボランティアバザー (山梨県ボランティア・NPOセンター使用団体連絡会議)	県ボランティア・NPOセンターの使用団体により組織されるボランティアバザー実行委員会が中心となり、県内の個人・団体等からのバザー物品提供を募り、バザー収益を、県ボランティア・NPOセンターへ寄付する。
	(4) スポーツボランティア養成事業 (山梨県ラグビーフットボール協会、ヴァンフォーレスポーツクラブ、山梨クイーンビーズ)	社会人ラグビーの最高峰であるジャパンラグビー・トップリーグの試合観戦に福祉施設の障がい者や中・高校生を招待する事業に協力し、スポーツ振興とスポーツ分野でのボランティア活動の実践の場を提供する。
3, パートナーシップ事業A	関係機関・団体との協働事業(収入なし・支出あり) *財源スポンサー事業B	実施に際しての費用負担を伴う協働のモデルとして実施する事業。
	(1) 24時間テレビチャリティ関連事業 (山梨放送)	毎年8月に実施される24時間テレビの関連事業として実施される富士山清掃や募金活動へのボランティアの募集や運営協力を行う。
	(2) 一般社団法人甲府青年会議所との協働事業 (一般社団法人甲府青年会議所、郷育フォーラム実行委員会)	青年会議所内の各種委員会事業への協力や、郷育フォーラムへの参画・協力を通じて、地域の活性化や次代を担う人材育成を図る。
	(3) 教師の福祉教育研修会 (山梨県総合教育センター)	山梨県総合教育センターとの協働事業として、現職の教職員を対象とした体験型の福祉教育研修プログラムを開催し、学校現場での教職員のコーディネート力の向上を図る。
	(4) いきいき輝きサロン (春日地区高齢者グループ)	山梨県ボランティア・NPOセンター周辺の高齢者を対象に、生き甲斐づくりや日常生活での支え合いにつながるボランティアな人間関係づくりのための交流の場を提供する。
	(5) 街頭募金活動 (山梨県共同募金会、市内中学校)	赤い羽根・歳末助け合い募金に県内の中・高等学校・大学生ボランティアの学校外での活動の場を提供するため街頭活動を実施し、ボランティア活動の実践の場の提供と助け合い・支え合いの大切さを学習する場とする。
	(6) 傾聴ボランティア自主グループ活動 (山梨はあとの会)	高齢化が進む現代社会で急速にニーズが拡大している傾聴ボランティア活動を県下に広げるため、山梨はあとの会と協働し、傾聴の基礎学習や個人・団体のネットワークづくりを行う。
4, パートナーシップ事業B	関係機関・団体との協働事業(収入なし・支出なし)	
	(1) 山梨災害ボランティア連絡会議 (県内災害・防災ボランティア推進機関・団体・個人)	県内の災害・防災ボランティアの個人・団体と協働し、県内で大規模な自然災害が発生した際の災害ボランティア活動が円滑に行われるための支援体制の強化を研究し、訓練や学習の場を提供する。
	(2) 山梨県社会福祉協議会との協働 (山梨県社会福祉協議会)	災害救援、福祉教育、ボランティアコーディネートなど、関連する事業分野における事業での協働を通じて、県全体での活動推進の強化を図る。
	(3) 廃食油回収キャラバン (バイオディーゼルネットワークやまなし・生活協働組合パルシステム山梨)	一般家庭で処理の問題となる廃食油の回収を通じて、家庭内での環境問題への理解とリサイクル活動など環境ボランティア活動の実践を広げる。
	(4) 山梨がんフォーラム (山梨まんまくらぶ、NPO法人がんフォーラム山梨)	県内のがん患者や家族の支援や医療体制の充実を目的とした「がんフォーラム山梨」の開催のサポートを行う。
	(5) びゅあ総合フェスタ (やまなし文化学習協会)	山梨県男女共同参画推進センターで開催されるフェスタへの参画を通じて、山梨県ボランティア・NPOセンターを利用していない個人・団体への県ボランティア協会・県ボランティア・NPOセンターの役割・機能をPRする。
	(6) ボランティア博inこうふ (甲府市ボランティアセンター、甲府市ボランティア団体連絡協議会)	イベントへの参画を通じて、甲府市内で活動するボランティア団体・グループとの連携を深めるほか、市民への県ボランティア協会・県ボランティア・NPOセンターの役割・機能をPRを行う。
	(7) 災害時通訳ボランティアセミナー (財団法人山梨県国際交流協会)	山梨県国際交流協会が実施する県内在住外国人を対象とした避難訓練や通訳ボランティアの養成訓練を支援し、地域の防災力向上を図る。
	(8) 南アルプス市市民活動フェスタ (南アルプス市市民活動センター、フェスタ実行委員会)	イベントへの参画を通じて、南アルプス市内で活動するボランティア団体・グループとの連携を深めるほか、市民への県ボランティア協会・県ボランティア・NPOセンターの役割・機能をPRを行う。
	(9) 生活困窮者支援事業(随時) (NPO法人フードバンク山梨、NPO法人やまなしライフサポートほか)	生活困窮者の食・日常生活・就労等の支援を行う団体の活動に対し、広報・物資等の受付、寄付募集、ボランティアの募集などを通じて、生活困窮者の支援を広げる。
	(10) やまなし男と女とのフォーラム (やまなし男と女とのフォーラム実行委員会)	6月の男女共同参画推進月間の合わせて開催される「やまなし男と女とのフォーラム」の実行委員会に参画し、男女共同参画の推進や、推進団体のネットワークづくりを支援する。
	(11) 各種団体事務局機能支援	発足前、または発足間もないボランティア・市民活動団体の事務局機能の一部支援や助言・アドバイスを通じて、新たな活動団体の発足や活動を軌道に乗せるための総合的な支援を行う。